

<お客様各位>

～「構えた時の大きな安心感」をコンセプトに新開発したウェッジが登場～

『W106』4月1日(水)新発売

大型ヘッド、広いスイートエリア、あらゆるライに対応するラウンドエッジ形状、幅広設計のソール形状などでゴルファーの安心感を格段に向上

株式会社本間ゴルフ

株式会社本間ゴルフ(本社:東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー35F、代表取締役社長:西谷 浩司)は、2015年4月1日(水)より、アドレス時の安心感を格段に向上するウェッジ『W106』を本間ゴルフ直営店および本間ゴルフ製品取扱店にて発売いたします。

『W106』は多くのゴルファーのニーズである“構えた時の安心感”を高めることをコンセプトに、当社酒田工場が開発されたウェッジです。バックフェースの打点以外の部分の肉厚を薄くすることで、余剰重量を生み出し、フェースサイズをひと回り大きくする設計で、構えた時の安心感を向上させました。また、大型ヘッドの採用による慣性モーメントの向上とスイートエリアの拡大により、ミスショット時の飛距離ロスの軽減を実現いたしました。

どのようなシチュエーションにあっても、安心してゴルフバッグから『W106』をお手に取っていただけるよう、あらゆるライからのショットに対応できるラウンドエッジ形状を採用。さらに幅広設計のソール形状とすることでエッジが刺さりにくく、ミスショットが軽減する設計となっております。

ヘッド部分には HONMA 独自の最適なメッキ処理を施したコンビメッキを採用。ボールに直接ヒットするフェース面は最大限のスピンを可能にした摩擦係数の高いニッケル仕上げを採用。また、平面度の精度アップのために、フェース全面に CNC 加工を施しました。一方、芝や砂が接するソール面には、摩擦係数が低く、傷がつきにくいニッケルクロム仕上げを採用。ラウンドエッジ形状で幅広設計のソールデザインと相まって、あらゆるライからでも、ボールの下に滑り込みやすく、スピン性能が発揮しやすいソールといたしました。

なお、『W106』の製品概要および構造と特長につきましては、次頁をご参照ください。



<『W106』>

— HONMA GOLF 『W106』 製品概要 —

- 【商品名】 『W106』
 【発売日】 2015年4月1日(水)
 【発売店舗】 全国の本間ゴルフ直営店および本間ゴルフ製品取扱店
 【価格】 19,000円+税
 【スペック】

ヘッド素材/製法	軟鉄/鋳造				
ヘッド仕上げ	黒ニッケル+クロムサテン仕上げ				
フェース素材/製法	高強度カスタムスチールフェース/圧延				
ロフト(°)	50	53	56	58	60
ライ角(°)	63.5				
バンス(°)	7.5	9.5	11.0		
フェース・プログレッション(mm)	5.5				
長さ(インチ)	35.0				
バランス・総重量(g)	R	D1・440		D2・442	
	S	D2・445		D3・447	

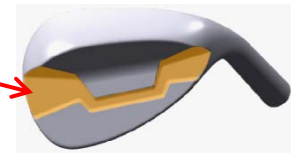
「2010年 新溝ルール」適合

【シャフト】 N.S.PRO 950GH

【構造と特長】

■安心の大型ヘッド

バックフェースの打点ではない部分の肉厚を薄くすることで、余剰重量が生まれ大型フェースを実現。



■大きな慣性モーメント

ヘッド形状を大きくすることで慣性モーメントが大きくなり、これと同時にスイートエリアも拡大。これらにより、ミスショットによる飛距離ロスや方向性のばらつきを軽減。



■ラウンドエッジ形状

あらゆるライからでもボールを拾うことができ、さらにボールを上げやすいラウンドエッジ形状。



ボールを包むイメージで、構えた時の安心感と方向性を出しやすくしたブレード形状。

■幅広ソール設計

幅広設計で、地面に刺さりにくく、ミスショットを軽減するソール形状。



■SPIN ZONE

フェース面は最大限のスピンを可能にした摩擦係数の高い独自の黒ニッケル仕上げを採用。また、平面度の精度アップのために、フェース全面にCNC加工を施した。



■SLIDE ZONE

芝や砂が接するソール面には摩擦係数が低く、傷が付きにくいニッケルクロム仕上げを採用。ソール形状は抜けやすく、あらゆるライからでも、ボールの下に滑り込みやすく、スピニング性能が発揮しやすい設計。

